



大臨技ニュース

〒545-0051
 大阪市阿倍野区旭町1-1-28ニチマンビル
 TEL 06-6647-3454 FAX 06-6644-1128
 社団法人 大阪府臨床衛生検査技師会
 大臨技ホームページURL
<http://www.osaka-amt.or.jp/>

第3回「大放技・大臨技合同フォーラム」開催のお知らせ

昨年に引き続き、社団法人大阪府放射線技師会(大放技)との共催による第3回「大放技・大臨技合同フォーラム」を下記の通り開催いたします。

学術フォーラムでは、両技師会のベテラン講師により、主に心臓の虚血性疾患を対象に、心臓カテーテル検査および心エコー検査について、基礎の講義から最新の話題までを提供していただきます。また、今回は特別講演として「患者が医療従事者を訴える理由 弁護士に問う」というタイトルが示すように、我々が日常遭遇するかもしれない医療事故・医療過誤について、医療に精通した弁護士の先生に法的立場から医療現場におけるリスクマネジメントについて講演をしていただきます。

日 時：平成14年1月19日(土) 14:30~18:00

場 所：大阪市立大学医学部基礎学舎 4階大講義室(下図参照)

内 容：学術フォーラム「これだけは知っておきたい循環器検査」

司 会：大放技 福西 康修 (大阪市立総合医療センター)

1. 「心臓カテーテル検査について」

講 師：大放技 横山 博典 (国立循環器病センター)

2. 「心臓超音波検査について」

講 師：大臨技 中尾 満 (大阪市立大学医学部附属病院)

特別講演「患者が医療従事者を訴える理由(わけ) 弁護士に問う」

司 会：大臨技 会長 朝山 均

講 師：弁護士 斉藤 ともよ (淀屋橋総合法律事務所)

参加費：500円(会員・非会員とも)

評価点：A - 10点

お知らせ

日本糖尿病療養指導士「認定更新」のための「参加証明書」を必要とする会員は今井宣子(電話 06-6879-6661、FAX 06-6879-6663)までご連絡ください。

日臨技が発行している専用用紙をお送りします。

平成14、15年度の日臨技会長・副会長が、会長：岩田 進氏、副会長：村瀬 光春氏、小 繁昭氏に決定しました。

平成13年度 生涯教育推進講座のご案内

12月の生涯教育推進講座についてお送りいたします。

日 時	内 容 お よ び 講 師	教科	会 場	担当部会
12月8日(土)14:00~17:00	1. 「サイトカイン 細胞性免疫の働きについて」 講師 国立大阪病院 新堂 隆人 2. 「サイトカインレベルでのマクロファージと腎疾患」 講師 北野病院 平井 達也 3. 「ホルマリン固定病理標本でのサイトカインの検出」 -炎症疾患・悪性腫瘍でのサイトカインの発現- 講師 ダコジャパン 谷 洋一	C教科	㈱アズウェル 新館8階会議室	病理細胞 細胞性免疫

第9回大臨技南支部自由集会報告

南支部長 中江健市（近畿大学医学部附属病院）

10月5日（金）岸和田市民病院・講堂において午後7時開始という遅い時間にもかかわらず61人（一般会員36人、賛助会員23人、学生2人）の出席者が集まり、南支部自由集会在開催されました。『小泉行政改革で医療はどう変わるのか？』これからの検査室に求められるもの と題し大塚製薬（株）首藤公義先生に総合規制改革について分かり易く説明していただきました。今後は医療の分野でも規制緩和が進んでいくこと、病院機能評価や情報公開により国民が良い医療機関を選択可能となること、来春に診療報酬が見直され検査点数・包括化が一層厳しくなることなどの話題が提供され、これからは検査技師があるいは検査室が積極的に今以上にチーム医療に参画していく事の重要性を参加者一同が再確認し午後9時に終了しました。

近臨技病理細胞検査合同研修会のご案内

【テーマ】「知っていると役立つ細胞所見」「補助生殖医療について」

【日時】平成14年1月12日（土）13：30～17：10

【会場】大阪市立大学医学部 4階大講義室

〒545-0051大阪市阿倍野区旭町1-5-7（JR天王寺駅から徒歩約5分）

【プログラム】1）13：30～15：10 座長 佐々木 政臣

『知っていると役立つ細胞所見』

川崎医科大学附属病院 病院病理部 畠 榮

2）15：10～16：10 座長 宮木 康夫

『ART（Assisted Reproductive Technology）について』

日本赤十字社 和歌山医療センター 病理部 内川 喜久

休憩

3）16：20～17：10 座長 岩井 宗

男判定困難症例（スライドカンファレンス）

（出題者）京都民医連 病理センター 林 孝俊 （解答者）県立奈良病院 山川 明彦

社会保険滋賀病院 馬野 真次

神戸中央病院 上岡 秀樹

【受講料】1000円

【担当責任者】日臨技細胞研究班 全国委員 宮木 康夫

連絡先：日赤和歌山医療センター TEL 073-422-4171（内線1218又はPHS7186）

【責任者】日臨技病理研究班 全国委員 佐々木 政臣

連絡先：大阪市立大学医学部附属病院 TEL 06-6645-2227

【日臨技生涯教育】B-15点、CT（JSC）5単位、CT（IAC）4単位

【協力】松浪硝子工業株式会社

第10回大臨技南支部自由集会予告

日時：平成14年1月12日（土）

場所：羽曳野市府立看護大学

内容：カナダ研修報告 日本とカナダの臨床検査技師、なにが同じでなにが違うの？

講師：近藤 弘（大阪府立看護大学）

抗抗菌抗体検出試薬キット「マイコドット」の紹介

講師：川角 修司（ラムコジャパン）

抗菌検査の現状と今後の展望

講師：新田 忠善（国立療養所近畿中央病院）

詳しくは次号にて案内させていただきます。

第16回 大阪病理技術研究会のお知らせ

日 時：平成14年1月26日（土）13：50～18：10

場 所：(株)アズウェル新館8階会議室
大阪市中央区石町2-2-9

参加費：会員500円（非会員3000円）

お問い合わせ先：(財)大阪がん予防検診センター 布引 治

Tel：06-6969-6718 e-mail：bxr00@ja2.so-net.ne.jp

詳細は次号に掲載いたします。

公益事業部講演会開催される

公益事業部

平成13年9月29日（土）に大阪府赤十字血液センターで公益事業部講演会「手話の世界へ～初めの一步～」が、開催されました。当日は一般の方を含めて29人の参加者がありました。手話のワンポイントレッスンでは、講師の大阪聴力障害者協会理事大江卓司氏に、検査の場面での手話について教えていただきました。

今後も公益事業部ではこのような活動を行っていきたいと思っていますので、皆様のご協力をお願いします。

公益事業部講演会に参加して

生長会府中病院 太田幸映

9月29日（土）に行われた公益事業部講演会「手話の世界へ～はじめの一步～」に参加させていただき、貴重な話を聞くことができました。

去年の冬に私の勤める病院でも手話の講習会があり、それに参加しほんの少し手話をかじった私は手話に大変興味を持っていました。ですからこの講演会の知らせを見た時はぜひ参加したいと思っていました。

講演会は聴覚障害者の現状についての説明からはじまりわかりやすく構成されていましたが、最初に目を引いたのは説明の間中、手話通訳の方が手話をされていた事です。時々電車の中などで見かけたことはありましたが、こういう形で目にするのは初めてで、わからないなりにずっと手話通訳の方の手話に見入っていました。

そして、何と言っても大阪聴力障害者協会理事の大江卓司氏の手話講座はとても勉強になりました。大江氏は手話が全く初めてという参加者の方に「採血」「痛い」「我慢」などのジェスチャーをしてもらい、その都度「よくわかります。」とおっしゃっていました。私は手話に興味を持ち、「手話を習いたい。」「手話で、もし機会があれば少しでも聴力障害のある人の役に立てればいい。」と思っていましたが、必ずしも手話で会話ができなくても伝えたい、伝わりたいと思う意志が少しでもあれば聴力障害のある人の役に立てるのではないだろうかと思直しました。その一方で聴力障害者の方々にも色々なケースがあり、先天的に聞こえない人、後天的に聞こえなくなった人、少し話す事ができる人、手話をする事を拒む人、口話が苦手な人、さらに手話の中にも方言のような違いがあることなど、なんとなく自分の中で解釈していた事や全く知らなかった事をきちんと教えていただき、改めて手話を知っていてもそれだけでは十分ではないということを知り、それと同時に聴覚障害を持つ人の大変さも知ることができました。

色々な事を考えさせられた一日でしたが、決して病院の中の検査室でルーチンをこなしては得ることができない、しかしながら人と人とがこの社会で生きていく上での大切な事を学んだような気がします。本当にありがとうございました。

平成14年度 会費納入のお願い

注意！平成13年度から会費納入時期が早くなっています。
会員管理システムの開始により、会費納入は1月31日までにすませてください。
振り込み方法はこれまでと同様に郵便振込みです。

なお、納入されない時（継続の方）は会誌「医学検査」が中断されますので念のためご案内します。

納入金額

日本臨床衛生検査技師会	10,000円
大阪府臨床衛生検査技師会	4,700円
近畿臨床衛生検査技師会	300円
合 計	15,000円

なお、新入会の方は、入会金6,500円（日臨技2,000円、大臨技4,500円）が加算されますので、合計21,500円となります。

異動・その他の届出用紙も同封されています。
送金は同封の郵便振替用紙を御利用ください。

なるべく施設毎に、まとめてお振り込み下さい。納入の際は必ず施設名と施設番号、会員番号
をご記入下さい。

お知らせ

これまで会費納入後、大臨技より手書きの領収証を発行し、郵送していましたが、次年度（平成14年度）より、郵便振込の際に渡される半券の領収書をもってこれに替えることにいたしました。会員の皆様方にはあらかじめご承知おきますようお願い申し上げます。なお、従前のような手書きの領収証を特にご必要とされる方は別途事務所のほうへご依頼ください。

編集後記

医療機関で実施される検査によっては予約の枠を取っているものがある。
しかし、予約以外の飛び込みも多いのも現実であろう。

私の勤めるクリニックは、「昔なじみ」の方が多く、患者さんと医師との距離がとても近いので、自らすすんで検査を受けに来られる方も少なくない。

緊急度の高い場合と、そうでない場合もあるのだが、後者であるからといって断ることは医師サイドでは、まずありえない。その際、指示を出す側の医師とその指示を受ける側のスタッフとの意思の疎通が重要であることを痛感するのだが、それ以前に医療従事者として、「できることはする」という少し広い心を持つことを心がけて、人間としても成長していきたいと思う。（中西 真規子）
